



第 15 回 if イナリヤマフェスタ 出店団体募集

イナリヤマフェスタの経緯や趣旨(P.3 参照)を理解いただいたうえでイナリヤマフェスタにてマルシェを担当してくれる団体を募集しています。

【募集要項】

- ◆イベント名 第 15 回 if イナリヤマフェスタ (仮)
- ◆開催日 2025 年 10 月 12 日(日)10:00~18:30(予定)雨天中止
- ◆会場 狭山稲荷山公園 管理事務所付近
- ◆主催 稲荷山公園パートナーズ
- ◆マルシェブース枠
 - ・飲食 20 店舗以上(キッチンカーまたはテントでの飲食物販売※)
 - ※テントによる露店飲食物営業許可の店舗は含みません。
 - ・物販 15 店舗以上 (物販・ワークショップ)
- ◆出店料 売上の7% (売上の 3%がイベントの運営費 4%が公園を活性化させる費用になります。)

【出店資格】

- ① 4~20 店舗以上を集められる企業・団体
- ② if イナリヤマフェスタの趣旨を理解する企業、団体
- ③ 公園が依頼する安全対策、出店資格、その他依頼事項を遵守する企業、団体
- ④ 暴力団等の諸団体(反社会勢力)と全く関係せず、設備、備品、及び材料の仕入れや人員の手配等においても健全な企業、団体
- ⑤ 上記の企業、団体において『if イナリヤマフェスタ営業委託契約』(別添)の契約締結が必要となります。また、契約締結後は不可抗力によるイベント開催不能に該当しない場合、または、上記の契約解除要件に該当しない場合に限り、履行していただきます。(なお、契約締結後に各企業、団体の代表者(代理者)による会合を設置し開催を予定いたします。
- ⑥ 原則として、出店する飲食店等の事業者様は狭山市内で有効な、移動販売車、または食品営業許可証、PL 保険を取得している方に限ります。提出が必要となります。
「飲食物・物品販売営業出店者誓約書」を事前(開催 3 日前まで)にご提出していただく必要があります。

【共通事項】

- ① 安全対策には必ずご協力いただき、全店舗へご周知ください。
- ② 出店内容について精査、ご質問をすることがありますので、ご了承ください。
- ③ 酒類の物品販売は酒税法による酒類販売許可証が必要となります。また、20 歳未

満および 20 歳未満とみられる方へのアルコール販売は一切禁止です。

- ④ 応募資格にありますように、公園宛の「飲食物・物品販売業出店者誓約書」(別添)をご提出していただく必要があります。
- ⑤ 販売した商品から発生するごみは各店舗にて回収し、お持ち帰りください。
- ⑥ 園内の車両通行には「通行許可証」が必要となり、園内走行はハザードランプ点滅、10 キロ以下、歩行者優先となります。
- ⑦ 発電機の使用は消防署へ届出が必要となります。また、未使用かつ使用期限内の消火器が必ず必要となります。
- ⑧ 公園のパンフレット内にある、「公園ルール」に遵守していただきます。
- ⑨ 天候による開催中止は、前日 12 時に天気サイトにより主催者判断とします。
中止の際の負担は致しかねませんのでご了承ください。

【注意事項】

- ・出店希望団体が多数の場合、稲荷山公園パートナーズで選定させていただきます。
審査内容に関しては一切お答えできません。
- ・出店内容、要望に関してはお応えできないことがあります。

【応募方法】

- (1)公園ホームページより、「応募申込書」をダウンロード
- (2)応募申込書を下記メールアドレスに送付、または、公園管理事務所に持参
info-inariyama@seibu-ryokka.com(メールにPDFデータを添付)
「応募申込書」提出期限 2025 年 5 月 4 日(日)17 時まで。

★イベントまでのスケジュール(仮)

- 【募集掲示】 4 月 21 日(月)～27 日(日)
- 【応募期間】 4 月 28 日(月)～5 月 4 日(日)
- 【参加団体の決定】 5 月 11 日(日)～5 月 18 日(日) メールで各団体へお知らせします。
- 【参加団体代表集合】 5 月 29 日(木)～6 月 3 日(火)(契約書内容確認)
- 【契約書締結】 6 月 3 日(火)～6 月 30 日(月)
- 【参加団体代表集合②】 8 月 1 日(金)～8 月 15 日(金)エリア分け、車両通行の注意案内
- 【出店店舗誓約書提出】 10 月 6 日(月)
- 【前日準備】 10 月 11 日(土)
- 【当日】 10 月 12 日(日)

イナリヤマフェスタのはじまり

3月11日 東日本大震災の発生で日本中が悲しみに包まれました。

個人で、公園で、自分たちで何かできることはないかという思いから、稲荷山公園ではペットボトルに灯を灯し並べ、鎮魂の意を表しました。それが if の始まるきっかけです。そこから、賛同してくれる方がだんだんと増えていきイベントになり、第14回まで続くことになりました。

震災からは15年が経って、今も避難者は存在しています。新たな災害も発生し続け他人事ではありません。震災を忘れない思い、災害への備え、また身近にあるしあわせを感じられるイベントとして地元のみならず共に、自分たちができることを未来につないでいきます。

イナリヤマフェスタの目的

①被災地支援

震災を忘れない、被災地の支援につながる行い

②地域交流

地元のコミュニティが深まる、助け合える

③防災力の向上(そなえパーク)

震災の備えとして個人の意識が高まる

イベントの内容

- ・キャンドルナイト
- ・防災
- ・ステージ
- ・マルシェ(飲食・物販)